

～今 障がい者雇用を考えている皆様のための7千情報誌～

イマ・カラー

【第11号】
平成27年10月20日発行

障がい者を雇用する企業訪問⑩

コブさっぽろ「エコセンター」
に行ってきました！

【会社概要】

- 社名 生活協同組合コブさっぽろエコセンター
- 所在地 江別市東野幌147-1
- 設立 2008年10月1日
- 従業員数 19名（平成27年8月現在）
- 営業種目 リサイクル業



社会貢献の新しい形を目指して

コブさっぽろエコセンターは、積極的に障がい者雇用を進めている企業です。同センターの佐藤守正センター長と同店で働く発達障がいのある七條さんにお話を伺いました。

七條さんは、就労移行支援事業所と就労継続支援事業所の利用を経て、平成27年4月に同企業にて実習し、同年5月から採用され働いています。

現在は、主に廃食油と発泡トレイや発泡スチロールのリサイクル業務を担当しています。仕事を始めて4ヶ月ですが、環境にも慣れ、「仕事は楽しいです。」と明るい笑顔で応えてくれました。

取材当日は、ペットボトルから廃食油を取り出し、取り出したペットボトルを再度リサイクルに仕分ける作業の様子を見せてくれました。作業もとても早く、佐藤センター長も、「頑張りすぎず、もう少し余裕をもって取り組んでも大丈夫なくらい一生懸命やってくれています。」と、その仕事を絶賛していました。

七條さんは、「これからは、もっと色々な作業を覚えたいです。」と意欲的に話し、最後まで笑顔で受け答えしてくれる姿を見て、仕事のやりがいを感じている様子でした。

同センターでは、従業員19人のうち8人の障が

いのある方を雇用しています。同センターでは、将来的に50%を越える法定雇用率を目指しているそうです。佐藤センター長は、「障がいのある方は、それを障がいと感じさせない。自分で工夫して前向きに取り組んでくれる。また、私たちにはない発想力があり、職場の安全環境の改善にも大きな力を貸してくれる。」と話してくれました。障がい者雇用を進めるにあたり、当初は作業の理解度や速度に差があり、個々に応じた対応が必要だったそうです。しかし、その違いを個性と捉え、障がいの有無で働く人を選ぶのではなく、誰もが働ける環境を整えることにより、結果的に企業全体の向上につながりました。

障がいのある方と一緒に働くことで、障がいの理解にもつながります。様々な社員が働く環境の整備を進めることで、人が優しくなり、企業が優しくなり、社会全体が優しくなれると考えていますと話してくれました。



「仕事が楽しい。」と笑顔で話してくれた七條さん。やりがいが表情からも伝わります。

えべつ障がい者しごと相談室すてら

8月から障がいのある方の民間企業への就職や就職後の定着を支援する「えべつ障がい者しごと相談室すてら」が開設しました。

市内にお住いの障がいのある方、そのご家族及び関係機関、障がい者雇用を行っている又は検討している企業からの相談を受け付け、就労実現と定着支援をサポートします。

詳細すてら ☎011-802-7998

※掲載希望又は内容についてのお問い合わせは、下記までご連絡願います。

●障がい者の就労支援を検討する

江別市自立支援協議会就労支援部会

『イマ・カラー』発行事務局

江別市役所健康福祉部福祉課障がい福祉係

〒067-8674 江別市高砂町6

☎011-381-1031

『イマ・カラー』には、“今から始める”、“今 現在の自分の色”という二つの意味が込められています。